

本時の見どころ

今年、明治元年から起算して満150年にあたります。明治維新では、近代国家の基礎が整えられ人々の生活が大きく変化しました。この頃、現合志市（旧西合志町）でも明治維新の影響を受け、全国でも珍しい私塾（合志義塾）がつくられました。本授業では、この合志義塾を地域教材として、合志義塾ができた背景を通して通史の明治時代がどのような時代だったのか考えます。

社会科（歴史的分野）学習指導案

日 時	平成30年10月30日（火）第2校時
場 所	合志市立合志中学校
年 組	合志市立合志中学校 2年4組 37名
指導者	合志市立合志中学校 教諭 大坪 真斗

1 単元名 「明治維新と立憲国家への歩み」（教育出版 p.156～p.171）

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領解説社会編【歴史的分野】内容（5）「近代の日本と世界イ・ウ」の内容にあたる。解説によると、この中項目は新政府による改革の特色を考えさせ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられ人々の生活が大きく変化したことを理解すること、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的地位が向上したことを理解させること等を主なねらいとしている。

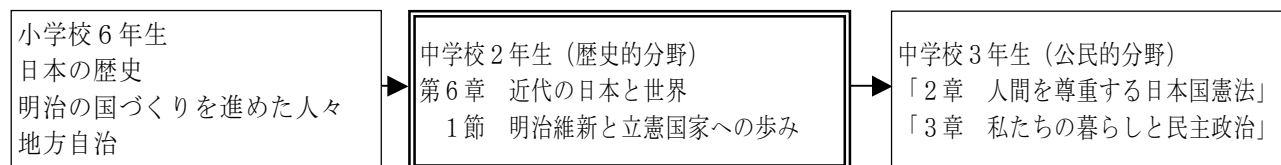
本時の学習内容は、江戸時代から明治時代が変わり大日本帝国憲法が公布される時期までの中央を中心とした国づくりが進められた時代が舞台となる。その時代に熊本県の旧西合志町（現合志市）で育った平田一十と工藤左一が、都市を中心とする政府の国づくりによる地方の衰退を危惧し、生活の基盤となる農業を学ぶことができる合志義塾という私塾をつくった。しかし、その私塾は中央の方針に背くものではなく、国の教育政策に感銘を受け、国の教育政策の理念の奉戴・実行を掲げ、生活の手段としての農業を学ぶだけではなく、社会や国家に貢献しようとする使命感を持った「国づくりの主体的存在」にすることまで考えたものであった。そして、この私塾は農村振興を担う地方中堅人物を養成し、今もなお合志の人々の生活基盤となる様々な施設や機関をつくり生かされている。また、このような私塾は全国でも珍しく、戦後まで続き国会で存続させようという議論がなされるほどであった。

生徒にとっては、歴史の変化が大きく、覚えなければならないことが多くあり、政策の名称や法律の内容を理解するだけで精一杯になりがちな単元である。さらに、通史の学習は中央で行われていることが中心であるため、身近に感じるものが難しく捉えにくいものになりがちである。また、中学校学習指導要領解説社会編【歴史的分野】では、目標（4）において「身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高めることが求められる」とある。そこで、地域教材を活用し地域の歴史を通して通史の理解をめざすことで、地域に生活する者にとっては歴史学習を身近に感じられるのではないかと考える。

これらのことから、合志義塾がつけられた背景の学習を通して明治時代を学習することで、通史の明治時代をより身近に感じ、興味・関心を持って学習に取り組むことができる有効で有意義な教材であると考えられる。

(2) 系統観

本単元における系統は以下の通りである。



(3) 生徒観

本学級は37名の学級集団である。hyper-QUによると学校生活意欲総合点の学級平均は全国とほぼ同じで、過半数以上の生徒たちが、学級は安心できる居場所となっており、それぞれが自分らしく生き生きと活動する親和的なまとまりのある学級集団と診断されている。社会科に対して学習意欲の高い生徒はいるが、周りの目を気にして授業で自分の考えを積極的に発言する生徒は少ない。班活動や課題解決の学習等の活動を伴う学習では全体的に意欲的に取り組む姿が見られる。しかし、発表や説明を聞く学習では、集中が続きにくい生徒も多い。

本学級のこの単元に関わる意識・知識等についての実態は以下の通りである。

(※37人中35人が回答)

<p>1 江戸時代から明治時代になって、日本の社会や人々の生活はどのように変わりましたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・制度や生活・文化、技術が西洋のものを取り入れるようになった。近代化した (14人) ・苦しい生活をする人が減った。(生活しやすくなった。)(6人) ・学校ができた。知識が広がった。(4人) ・工業発展。(技術の発展)(4人) ・憲法などができて政治が発展した。(政治の中心が議員)(4人) ・人口が増えた。(4人) ・平和になった。(争いがなくなった。)(3人) ・町が豊かになった。お店が増えた。(3人) ・食べ物が増えた。(農業)(1人) 	
<p>2 江戸時代から明治時代になって、合志の社会や人々の生活はどのように変わったと思いますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活が豊かになった。(家・病院・店の増加)(15人) ・人口が増えた。(子どもが多かった。)(7人) ・平和になった。(4人) ・教育機関が発達した。(4人) ・近代的になった。(2人) ・平等, 自由になった。(2人) ・服装が変わった。(2人) ・医療が発達した。(1人) ・食料が増えた。(農業)(1人) ・廃藩置県が行われ, 全国についていった。(1人) 	
<p>3 次の政策の中で、どの政策が合志に一番影響を与えたと思いますか。一番影響を与えたと思うものを2つ選び、その理由をできるだけ詳しく書きなさい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大日本帝国憲法 (11人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・政府が決めたから。(5人) ・決まりを守ろうとしていた。(2人) ・聞いたことがあるから。(2人) ・みんなの生活の仕方が変わった。 ・合志の発展に貢献したと思う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・四民平等（10人） ・自由民権運動（10人） ・教育勅語（7人） ・学制（6人） ・西南戦争（5人） ・文明開化（6人） ・廃藩置県（6人） ・地租改正（1人） ・岩倉使節団（1人） ・徴兵令（1人） ・五箇条の御誓文（1人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・差別などをなくそうとする意識が高いから。（4人） ・みんな平等がいいと思うから。（2人） ・学校に行けるようになったから。（2人） ・温かい人が増えた。 ・平等になると協力し合って栄えたと思うから。 ・自由になる権利が与えられた。（4人） ・聞いたことがあるから。（3人） ・みんな自由がいいと思うから。（2人） ・学問を学ぶ人が増えた。（3人） ・黒石原に何かを保管するためのものがあったらしい。（2人） ・この政策があれば、人々が協力していまちづくりができると思うから。（2人） ・ちゃんと学校に行かせてあげたから。（2人） ・学問を学ぶ人が増えた。 ・教育が変わって暮らしが変わったと思うから。 ・学校に行けるようになったから。 ・小中学校ができたから。 ・群山の頂上には、西南戦争の時持ち去られた仏があるらしい。 ・熊本で起きた戦争だから。 ・熊本にもいろいろな記録が残っている。 ・合志からもたくさん戦争に行った人がいると思う。 ・合志に近い。 ・理由なし
--	--	---

問1より明治時代になって西洋化していったというイメージを持っている生徒が多いことがわかる。しかし、具体的な政策や制度についての記述はなく、どのように変化したのかといった知識は乏しいことが伺える。中には、現代との区別ができていない生徒の記述もあった。

問2よりほとんどの生徒が、全国の変化と同様の変化が合志でも見られていると認識していることが伺える。

問3より「大日本帝国憲法」が一番合志に影響を与えていると思っている生徒が多いことがわかる。理由にあるように、憲法という国からの発信ということで影響力が大きいのだと感じているようだ。次いで、「自由民権運動」「四民平等」であった。四民平等については、合志市の生徒たちは小学校から人権学習を行っており、そこで四民平等について学習をしているためだと考えられる。また、西南戦争は合志にもかかわりがあることを知っている生徒も少なからずいた。しかし、身近な地域の歴史的事象に対する興味・関心が全体的に低いということが分かる。

(4) 指導観

生徒の実態調査の結果より、本単元では、地域の歴史の学習を通して生徒一人一人が通史にも興味・関心を持ち、歴史学習に対する意欲を高めさせたいと考える。また、全国どこでも通史で学習する出来事が見られるわけではなく、地域の実態に即した歴史が見られると言うことに気付かせたい。さらに、日本でも例を見ない私塾が生徒たちの地元であり、現在の合志もその恩恵を受けていることを学び、地元を誇りを持たせ、地域の未来を担う生徒の育成を図りたい。

そこで、まず生徒が興味・関心を持ちやすくするために、身近な地域を扱った課題を設定して学習意欲を高めたい。そして、基礎的・基本的事項を押さえつつ、生徒同士で教え合ったり意見を交換したりする授業展開を取り入れ、生徒の意欲や集中力を高め、学習内容の定着を図りたい。

また、本単元の指導に当たっては、明治維新や文明開化等の歴史的事象を網羅的に取り上げるのではなく、わが国の近代化や国際的な地位の向上により、自分たちの暮らす地域がどのような影響を受けていたのかといった地域の変化にも着目させる。また、自分たちの暮らす地域の歴史学習を通して通史の明治時代の特色を把握させるようにしていきたい。その際、歴史の動きを身近な社会事象として捉えさせるために、地域にある歴史資料を有効に活用したいと思う。さらに、資料から読み取ったことを年表にまとめるなど、時代の動きや流れをつかむために年表を効果的に活用したい。

3 単元の目標

社会的事象への 関心・意欲・態度	明治維新の経緯のあらましや、人々の生活の大きな変化に対する関心を高め、立憲制の国家が成立し議会政治が始まる過程を意欲的に追究させる。
社会的な 思考・判断・表現	新政府による政治の改革のねらいや、明治維新による人々の生活の変化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現させる。
資料活用の技能	富国強兵の諸改革、殖産興業による近代産業の育成、文明開化の動き、立憲国家の成立に関する様々な資料を活用し、読み取り図表にまとめさせる。
社会的事象についての 知識・理解	明治維新により近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことや、自由民権運動により当時のアジアで唯一の近代的な立憲国家となったことを理解し、その知識を身に付けさせる。

4 単元の指導計画と評価（規準）計画（全8時間 本時8／8）

次	時	主な学習活動（全国）	主な学習活動（合志）	評価
1	1	「万機公論に決すべし」 ○新政府が戊辰戦争の最中に五箇条の御誓文を發布したことに気づき、その意図や形式、内容について理解する。		・新政府が国内を統一していった過程や、新政府が五箇条の御誓文で示した政治の方針について理解している。 【知識・理解】
単元を貫く課題：明治政府が行った国づくりは、人々の生活にどのような影響を与えたのだろうか。				
2	1	「人民に上下の別なき」 ○版籍奉還・廃藩置県・四民平等の改革について捉え、新政府はどのような国家を目指したのかを考える。	○熊本への版籍奉還・廃藩置県の影響を知る。	・新政府が目指した国家について、版籍奉還・廃藩置県・四民平等の改革から多角的に指摘している。 【思考・判断・表現】

3	1	「学問は身を立てるの財本」 ○富国強兵政策の具体的な内容を理解する。 ○改革により、人々の生活がどのように変化したか資料から読み取る。	○学制・税制の改革が熊本県に与えた影響を資料から読み取る。	・富国強兵政策を理解し、その政策が社会に及ぼした影響について考えることができる。 【思考・判断・表現】
4	1	「ザン切り頭をたたいてみれば」 ○殖産興業の政策による産業の近代化や、生活様式の洋風化について、江戸時代と比較しながらまとめる。	○合志の産業や、土地の活用について資料から読み取る。	・西洋にならった改革で、社会に影響を与えた物事を、江戸時代と比較して表にまとめている。 【技能】
5	1	「智識を世界に求めて」 ○使節団の目的を理解するとともに、朝鮮に対して武力を背景に日本に有利な条約を結んで開国させたことに気づく。		・政府が岩倉使節団を派遣した目的や成果について理解できる。また、朝鮮に対して武力を背景に日本に有利な条約を結んで開国させたことに気づいている。 【知識・理解】
6	1	「民撰議院を開設せよ」 ○自由民権運動が始まった経緯や、改革への不満から士族の反乱が起きた過程を理解する。	○当時の代表的な士族の反乱である西南戦争が、合志に与えた影響について知る。	・自由民権運動のおこりや全国的な広まりの過程を理解している。 【知識・理解】
7	1	「憲法の条規により之を行う」 ○大日本帝国憲法の制定過程と内容の特色について理解し、日本が天皇を元首とする、当時アジアで唯一の立憲国家となったことに気づく。		・日本が当時のアジアで唯一の立憲国家となったこと、大日本帝国憲法下では天皇が統治者として強い権限を持つ一方、選挙に基づく議会政治も始められたことを理解している。 【知識・理解】
8	1 (本時)		○明治政府は教育政策によって、どのような国や人をつくろうとしたのか「合志義塾」を通して考える。	・資料をもとに「合志義塾」を通して、どのような合志にしたかったのか考えている。 【思考・判断・表現】

5 本時の学習

(1) 本時の目標

明治政府の行った諸改革により、自分たちが暮らす合志にも大きな影響を受けていたことに気付く。また、明治の教育政策に感銘を受けた人物が私塾をつくり、地域の活性化と農業を中心に据えた国づくりを行おうとしていたことを知る。

(2) 本時の展開

過程	時間	主な学習活動	学習形態	○教師の指導 ・予想される生徒の反応	教材資料等
導入	5分	1 合志義塾について知る。	一斉	○合志義塾に関係する身近なものを見せる。 (校内にあるカタルパの木・漫画「カタルパの木」) ・漫画を見たことがある。 ○明治の教育政策に感銘を受けた合志市の2人の人物(工藤左一・平田一十)について知る。 ※2人の人物の写真や漫画・ドラマの一場面を提示して関心を持たせる。	カタルパの木 漫画本 工藤・平田に関する マンガ・ドラマ)
展開	35分	学習課題：明治政府が出した教育政策は、合志をどう変えたのか？			
		2 合志義塾の特徴を公立の学校と比較して資料から読み取る。	一斉		
		中心発問：工藤と平田の二人は「合志義塾」を通して、どのような合志にしたかったのだろうか。			
		(1)合志義塾の特徴を資料から読み取る。(公的な学校との違い)	班 一斉	○班ごとに資料を読み取り、意見を出し合わせる。 ○合志義塾について①カリキュラム②授業料③進路(進学先)の視点から読み取らせ、公的な学校と比較させる。 ・①③農業をする人を育てるための学校だった。 ・②誰もが行ける学校だった。 ・③農業で地域を活性化させようとした。	合志義塾に関する資料(カリキュラム・授業料・進路)
		(2)合志義塾をつくった二人は、合志義塾によってどのような合志にしたかったのか、意見を出し合いまとめる。	個→班 一斉	○これまでの学習から、当時の合志の状況をふまえて発問について考えさせる。 ・農業従事者を育成できる地域 ・自立した農民を育てる地域 ・農業に関する知識や技能を身に付けた農民がいる地域 ・女子でも学校に行ける地域 ・誰でも学校に行ける地域 ・農業で発達する地域 ・農業の価値を高めようとしている地域	これまでの資料やワークシート ミニホワイトボード
		3 合志義塾のその後について知る。		○現在に残る合志義塾の功績をスライドや動画で紹介する。	P C プロジェクター
まとめ	10分	4 工藤平田の二人に手紙を書く。	個 一斉	○本時の学習で感じたことを発表させる。 ・合志で地域に合った教育をめざそうと、自分で行動した人たちがすごいと思う。自分にもできることを頑張りたい。	ワークシート

(3) 本時の評価

場面	評価基準
評価	A:どのような合志にしたかったのか、合志義塾の内容と社会の変化を関連付けてまとめている。 B:どのような合志にしたかったのか、合志義塾の理念又は社会の変化から読み取りまとめている。